

第119回 幻住庵俳句コンクール

番号	句	住所・氏名
225	あはうみや寄するさざ波花乗せて	大津市大萱 松田 和子
224	桜東風柱時計もコチコチと	大津市大萱 松田 和子
223	花衣水面にゆれて蹴上まで	大津市大萱 松田 和子
222	お茶おにぎり句帳ポケット様まで	大津市大萱 松田 和子
221	春雨やねねの道ゆく傘の音	大津市大萱 松田 和子
220	桜咲くそれぞれ命輝やかせ	大津市大萱 松田 和子
219	一年生元気に「ハイッ」花水木	大津市大萱 松田 和子
218	さくらさくら最後の命青空へ	大津市大萱 松田 和子
217	春の雨波紋重ねて水ゆるる	大津市栄二 森本 和子
216	秒よみの視線集まる花の下	大津市栄二 森本 和子
215	色褪せて散りゆく花を惜しみけり	大津市栄二 森本 和子
214	春暁や夢と現をさまよへり	大津市栄二 森本 和子
213	見下して見上げて探る梅日和	大津市栄二 森本 和子
212	露草の色鮮やかや夕べの雨	大津市栄二 森本 和子
211	露の底不意に抜めるつばくらめ	大津市栄二 森本 和子
210	雲の来て雲の流れて山笑ふ	大津市栄二 森本 和子
209	朝霧も視界も動きそめにけり	大津市栄二 森本 和子
208	糸張って蜘蛛の動きのとまりけり	大津市栄二 森本 和子
207	春光や暮しも野良も動き出す	大津市里六 宮崎 正子
206	能登よりの風が運びし遅樂雷	大津市里六 宮崎 正子
205	散る花に人生重ね置き道	大津市里六 宮崎 正子
204	絵巻物ごとく流るる花の帯	大津市里六 宮崎 正子
203	春の雷鈍行列車きしむ音	大津市里六 宮崎 正子
202	からこると故郷の音や種袋	大津市里六 宮崎 正子
201	不器用を今さら梅やみ悴む手	大津市里六 宮崎 正子

第119回 幻住庵俳句コンクール

番号	句	住所・氏名
227		
228	ふれる雨おでん屋台や椅子五つ	大津市大萱 松田 和子
	雷間の春見つけて弾むウオーキング	大津市大萱 松田 和子